

モーツァルト巡礼ーその18

K.518 水谷康男

K513 は、バスのためのアリア「娘よ、お前との別れに際し」です。Fl1本、Cl・Fg・Hr 各2本に弦5部(Vn/Va 各2部とVc・Cb)の管弦楽に乗ってBsが独唱する、8分程度の佳曲です。1787年3月23日にBs歌手のゴットフリート・フォン・ジャカンのためにウィーンで作曲されました。彼の音域はあまり広くないためそれを考慮して作曲されているため比較的楽に歌えますが、聴いていただければわかるように感銘深い作品です。

K514 は、ホルン協奏曲 第1番 ニ長調 K412 のための第2楽章 ロンド・アレグロ として使われており、モーツァルト巡礼ーその14 で、紹介済みです。

ホルン協奏曲はどの曲も軽快で、とても気持ちよく聴けるのですが、いずれもザルツブルクからウィーンへ移転して活躍していた、モーツァルトにとっては冗談も言える間柄のホルン奏者ライトゲープのために作曲されたことがこれらの曲の背景にあるからと思います。

K515 は、有名な弦楽五重奏曲 第3番 ハ長調 で、1787年4月19日にウィーンで完成されました。続くK516 ト短調の弦楽五重奏曲と共に、翌年の3曲の交響曲の3大傑作に匹敵する、あるいは、彼の室内楽としての最大の名作群に属するものです。Ⅰ:アレグロ、Ⅱ:アンダンテ、Ⅲ:メヌエットーアレグレット、Ⅳ:アレグロの全4楽章よりなる演奏時間40分余りの傑作です。

K516 も前曲に続く 弦楽五重奏曲 第4番 ト短調 という傑作で、Ⅰ:アレグロ、Ⅱ:メヌエットーアレグレット、Ⅲ:アダージョ・マ・ノン・トロppo、Ⅳ:アダージョ〜ロンドーアレグロの全4楽章よりなる演奏時間35分程の前曲同様の室内楽の傑作で、1787年5月16日にウィーンで作曲されました。

K517〜K520 は、いずれもリートの佳曲です。

K517 は、「老婆」といい、1787年5月18日、ウィーンで、作曲された歌曲です。

K518 は、「秘め事」で、前曲の2日後に、ウィーンで作曲されました。

K519 は、「別れの歌」で、同じ5月の23日にウィーンで作曲されました。

K520 は、「ルイゼが不実の恋人の手紙を焼いたとき」で、5月26日にウィーンで作曲されました。

K521 は、1台4手のためのピアノ・ソナタ ハ長調 です。1787年5月29日にウィーンで作曲された全3楽章よりなるピアノ・ソナタで、Ⅰ:アレグロ、Ⅱ:アンダンテ、Ⅲ:アレグレットで、軽快に始まり、しっとりとした中間楽章と、可憐で軽快な終楽章よりなる、演奏時間23分程の曲です。

K522 は、「音楽の冗談」ハ長調 です。2本のホルンと弦4部(VnⅠ・Ⅱ、Va、Vc・Cb)による6重奏曲で、1787年6月14日ウィーンで作曲され、「村の楽士六重奏曲」とも言われていました。この曲自体は、当時横行していた下手な素人作曲家の稚拙さを面白おかしく風刺しからかうという、悪ふざけに満ちた作品ながら、変わった音を使いたがる素人の手法をまねて必然性のない転調や和音を加えたりして、真面目腐って稚拙さをまねているにもかかわらず、結構楽しく聴かせてくれるのです。

K523 は、リート「タベの想い」 K524 は同じく リート「クローエに」 は、いずれも 1787 年 6 月 24 日に、ウィーンで作曲され、1789 年アルタリア社から出版された際の新聞広告に「二つのドイツアリア」としています。いずれの曲もモーツァルトの代表的なリートです。この頃の父への手紙にもあるように生活に疲れ、死についても記していたりします。厭世的な歌詞と相まって、涙なしには聴けません。

K525 は、有名な セレナーデ 第 13 番「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」ト長調です。1787 年 8 月 10 日ウィーンで作曲されました。Vn I & II、Va、Vc・Cb の弦楽器のみによる編成です。Ⅰ：アレグロ、Ⅱ：「ロマンツェ」アンダンテ、Ⅲ：「メヌエット」アレグレット、Ⅳ：「ロンド」アレグロの全 4 楽章よりなる演奏時間 17 分ほどの傑作です。編成は、弦楽四重奏曲としても演奏可能なので、弦楽四重奏から 60 人ほどの大編成まで、演奏家にとってはありがたい曲で、しかも軽快で快活なこともあり、モーツァルト作品の中でも誰からも愛される有名曲となっています。

K526 は、ヴァイオリン・ソナタ 第 42 番 イ長調 です。1787 年 8 月 24 日にウィーンで完成された、数あるヴァイオリン・ソナタの中でも最高傑作と思われる作品です。Ⅰ：モルト・アレグロ、Ⅱ：アンダンテ、Ⅲ：プレストの 3 楽章よりなる、演奏時間 25 分程の作品です。軽快で流れるような曲想ですが、その中から言うに言われぬペーソスがあふれる第 1 楽章に始まって、第 2 楽章に至っては、ゆったりとした中で、死をも意識させる深淵なる晩年のモーツァルトを考えると、涙なしには聴けません。その気持ちを跳ね返すように流麗な第 3 楽章により、魂が救われます。特に中間部の美しくして力強さに感銘は頂点に達します。

K527 は、2 幕のオペラ・ブッファ「ドン・ジョヴァンニ」です。モーツァルトの最大傑作といわれることも多いこのオペラは、リブレットは「フィガロの結婚」に続きダ・ポンテが担当しました。この前年に「フィガロの結婚」が、ウィーンだけでなくプラハで大成功したことで、プラハの劇場支配人ボンディーニがプラハのためにと、オペラ作品をモーツァルトに発注し、1787 年 10 月 28 日にプラハ※で完成し、翌日に同地の国民劇場で初演され、大成功を収めています。



※ベトラムカ荘：18 世紀後半にこの館の所有者であったフランティšek・クサヴェル・デュシェックとヨーゼファ・ドゥシュコヴァーの夫婦はともに音楽家で、この別荘に仲間の音楽家を招くのが常であり、「ドン・ジョヴァンニ」制作のためにプラハにやってきたモーツァルトもここに招かれ、制作に専念することができた。プラハの街中の宿で期限の迫った作品制作に苦しんでいたモーツァルトにとってこれはありがたいことだった。チェコの人々は生前からプラハで人気のあったモーツァルトをオーストリアの人々に負けず劣らず自分たちに深い関係のある偉人と考えており、この館もモーツァルト生誕 200 周年を記念して博物館となった。(ウィキペディアより)

Fl・Ob・Cl・Hr・Tp 各 2 本、Tb3 本、Timp、マンドリン、Vn I・II、Va、Vc・Cb・Cemb、合唱の編成に加え、第 1 幕終曲では、3 つの楽団(Ⅰ：Ob2・Hr2 弦、Ⅱ：Vn、Vc・Cb、

Ⅲ：Vn、Vc・Cb) が加わります。

歌手は ドン・ジョヴァンニ Br、レポレロ Bs、ドンナ・アンナ Sp、ドン・オッターヴィオ T、ドンナ・エルヴィーラ Sp、ツェルリーナ Sp、マゼット Bs、騎士長 Bs の 8 名よりなり、著名な旋律がちりばめられた傑作です。

第一幕第 5 場で歌われる 第 4 番の「カタログの歌」は、その歌詞の荒唐無稽さと、わかりやすい音楽により、モーツァルトの枠を超えて有名になっています。また、同じく第 1 幕第 9 場 第 7 番の、ツェルリーナとジョヴァンニの二重奏「お手をどうぞ」では、ジョヴァンニの誘惑に、逡巡しつつ、抗えないツェルリーナの心の揺れが巧みに描写された魅惑的な

メロディーは、のちに、下記のようなショパンやリストの変奏曲の主題となってもいます。

ショパン作曲：モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」の「お手をどうぞ」による変奏曲 変ロ長調 作品2

リスト作曲：モーツァルト：「ドン・ジョヴァンニ」の回想

K528～532 は、様々な声楽曲が続きます。

K528 は、レシタティーフとアリア「さらば、いとしいものよ」～「とどまれ、わが愛人よ」で、1787 年 11 月 3 日にプラハで、ドゥシェク夫人のために作曲されました。Fl1, Ob・Fg・Hr 各 2 と Vn I & II、Va、VcCb の弦 4 部をバックにソプラノ独唱(初演はドゥシェク夫人)による 10 分足らずの作品です。

K529 は、リート「フリードリヒちゃんの誕生日に」で、1787 年 11 月 6 日プラハに似て作曲されました。アンハルト＝デッサウのフリードリヒ王子(1778 生)の誕生祝の曲で、演奏時間 3 分程の佳曲です・

K530 は、リート「夢の姿」で、前曲と同じく、1787 年 11 月 6 日プラハに似て作曲されました。作曲もするプラハの友人ジャカンに送られました。演奏時間 4 分程の佳曲です。

K531 も。リート「糸を紡ぐかわいい娘」です。1787 年 12 月 11 日ウィーンで作曲された、2 分程の愛らしい曲です。

K532 は、三重唱曲「だまされたお陰で」ですが、書きかけたままの未完の作品です。そのためこの CD 全集にも収録されていません。

K533 は、ピアノ・ソナタ 第 15 番 へ長調 の アレグロとアンダンテ へ長調 です。現在では、前回に紹介した K494 ロンド へ長調と合わせて、一つのピアノ・ソナタとみなされています。このロンドは 1786 年 6 月 10 日に書かれ、1788 年 1 月 3 日に第 1 楽章 アレグロ と第 2 楽章 アンダンテ が、ウィーンにて作曲されました。1788 年に、ホフマイスター社から二つを纏めて一つのピアノ・ソナタとして出版されました。全曲を通して、長調の曲とは言え、モーツァルト晩年のペーソスに満ち溢れた傑作といえましょう。

K534 は、コントルダンス ニ長調「雷雨」です。1788 年 1 月 14 日に作曲されたもので、宮廷舞踏会で踊られた 1 曲で、モーツァルトの手によるピアノ独奏版も存在します。

K535 は、コントルダンス ハ長調「進軍」です。1788 年 1 月 23 日に作曲されたもので、前曲と同じく、宮廷舞踏会で踊られた 1 曲です。

K536 は、は、6 つのドイツ舞曲集で、1788 年 1 月 27 日にウィーンで作曲されました。6 曲合わせて 10 分程の小品群です。

K537 は、ピアノ協奏曲 第 26 番 ニ長調「戴冠式」です。1788 年 2 月 24 日の作曲ですが、1790 年 10 月にフランクフルトでの、レオポルド 2 世の戴冠式の際にこの曲が演奏され、以来「戴冠式」の名で呼ばれるようになりました。Ⅰ：アレグロ、Ⅱ：ラルゲット、Ⅲ：アレグレットの 3 楽章よりなり、Fl1 本、Ob・Fg・Hr・Tp 各 2 本に Tim と弦 4 部 (Vn2 部と Va、Vc・Cb) の管弦楽に乗ってピアノが「戴冠式」のように堂々と華やかに奏でます。ただ、音楽的にはやや平凡なもので、次の第 27 番には遠く及ばないように感じます。

K538 は、ソプラノが歌うアリア「空の星よ、情けあらば」です。1788 年 3 月 4 日かつての恋人アロイジア・ランゲ夫人の

ために作曲した、最後のアリアで、彼女の声と技量に合わせたコロラチュアの派手な技巧を駆使したアリアです。内面的な感情よりも声を楽器のように使った協奏曲のような円熟した手法による演奏時間 8 分弱の華やかなアリアです。

K539 は、ドイツ軍歌「私は、皇帝になりたいな」で、1778 年 3 月 5 日ウィーンで、喜劇俳優フリードリヒ・パウマンのために作曲されました。同年 3 月 7 日彼の演奏会で初演された、士気を鼓舞するための楽しい軍歌です。

K540 は、ピアノのための アダージョ ロ短調 です。1788 年 3 月 19 日に作曲された、ソナタ形式で書かれた単独のアダージョとして残った演奏時間 12 分程の、憂いに満ちた作品です。

K541 は、バスのためのアリエッタ「手の口づけで」で、1788 年 5 月にバス歌手フランチェスコ・アルベルタレリ(ドン・ジョヴァンニのウィーン初演のタイトルロール歌手)のために作られました。2 分程の短い曲ですが、主題が、その 2 か月後に作曲された「ジュピター」交響曲の第 1 楽章提示部・再現部に使用されています。

K542 は、ピアノ 3 重奏曲 ホ長調 です。1788 年 6 月 22 日にウィーンで作曲されました。続く K548 と K564 と共に、最後の 3 大交響曲の頃の作であり、まさにモーツァルトの絶頂期の作品といえましょう。Ⅰ:アレグロ、Ⅱ:アンダンテ・グラツィオーソ、Ⅲ:アレグロの 3 楽章よりなる 20 分程の作品です。

K543 は、交響曲 第 39 番 変ホ長調 です。既述のように平和な幸福感に満ちた曲であり、当時のモーツァルトの苦境や心労を反映する影さえない、天才だけに与えられた至福の音楽といえましょう。Fl1本、Cl・Fg・Hr・Tp各2本にTimと弦5部(Vn2部と Va、Vc、Cb)よりなる編成でⅠ:アダージョ〜アレグロ、Ⅱ:アンダンテ。Ⅲ:メヌエット アレグレット、Ⅳ:アレグロも 4 楽章よりなる演奏時間 25 分程の曲です。

K544 は、小さな行進曲 ニ長調 ですが、現在では草稿も、出版された楽譜も無く、本 CD 全集にも収録されていません。

K545 は、ピアノ・ソナタ 第 15 番 ハ長調 (副題:初心者のための小さなソナタ)で、1788 年 8 月 26 日ウィーンで作曲されました。第 1 主題のオクターブを上下する軽妙なパッセージだけでも耳になじんでいる作品です。初心者向きといながらも、技巧的に難しい部分もあり、内容的にはモーツァルト晩年の円熟した流麗さを持つ珠玉の作品です。

K546 は、アダージョとフーガ ハ短調 です。1788 年 6 月 26 日に Vn2 部、Va、Vc・Cb の弦楽合奏曲として作曲されましたが、弦 4 部という事もあって、弦楽四重奏曲とされたこともありました。演奏時間 7 分程ですが、フーガの雄大さに圧倒されます。

K547 は、ヴァイオリン・ソナタ 第 43 番 ヘ長調 で、1788 年 8 月 24 日にウィーンで、作曲されⅠ:アンダンテ・カンタービレ、Ⅱ:アレグロ、Ⅲ:アンダンテと変奏の 3 楽章よりなる、比較的平穏な曲で、弟子のために書いた「初心者のためのヴァイオリン付きピアノ・ソナタ」ともいえます。

K548 は、ピアノ 3 重奏曲 ハ長調 です。1788 年 7 月 14 日にウィーンで作曲されました。Ⅰ:アレグロ、Ⅱ:アンダンテ・カンターヴィレ、Ⅲ:アレグロの 3 楽章よりなる 22 分程の作品です。

以降、次号に続きます。